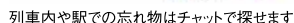




駅や列車内の忘れ物を年間約十二万五〇〇〇件取り戻した。JR北海道は、七月一日より駅や列車内に置き忘れたた忘れ物をスマートフォンなどで検索できる新たなサービスを始めました。同社で扱う忘れ物は年間約十二万五〇〇〇件（二〇二四年度）。これまでは駅係員が対面または電話で忘れ物の種類や特徴を聞き取り確認していましたが、画像情報もなく、お客様をお待たせしてしまいう状況でした。しかし、『落とし物クラウドfind』と名付けられたこのサービスは、チャットで二十四時間いつでもお問い合わせが可能。係員が画像登録した忘れ物をAIが画像検索するため、短時間で探すことができ、「お客様をお待たせしてしまう状況」の改善につながっています。それだけでなく、忘れ



認証用のメールアドレスを登録してスタート

物に関する業務の効率化が図られるとともに、返却率の向上にも期待が寄せられていきます。落とし主の「連絡をするだけでも大変」「探しても見つからない」といった悩みや不安が解消されるのも大きなメリットです。

ことなく、ブラウザ上ですぐにチャットを開始できるので、使い勝手も良好です。

使い方は簡単
二十四時間、多言語対応

サービスをご利用いただくには、まず find chat に
認証用のメールアドレスを登

情報を入力します。その内容についてオペレータが対応し、忘れ物が見つかれば保管場所をお知らせします。ただし、webフォームへ忘れ物の情報を入力する画面までは、日



落とし物クラウドfindについて

本語 英語 中国語(簡体)・韓国語のみの対応となります。受付は二十四時間実施していますが、対応時間は九時から二十二時まで。二十二時以降の新規問い合わせは、翌朝九時以降の回答となります。

なお、ご利用の際は、JR北海道公式サイト内のページ※からアクセスください。

J